

国語科単元構想シート

単元名 主教材： 補助教材：	時 期	
	対 象 学 級	
	生 徒 数	
	担 当 者	
1 単元の目標（何ができるようになるか）		
知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力等
・	・	・
2 単元で働かせる「見方・考え方」		
○ ○ ○		
3 単元に位置付けた「課題解決的な言語活動」と「期待する姿」		
【単元に位置付けた課題解決的な言語活動】		
何を認識して	どのようなことを思考し	どのように表現するか
【期待する姿（ゴール像）】		
4 単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて（国語科における授業改善の視点）		
主体的な学び <small>（学習への興味や関心を高める場面、学習の見通しを持つ場面、学習を振り返り次につなげる場面の設定）</small>	対話的な学び <small>（自己の思考を広げ深める場面の設定）</small>	深い学び <small>（見方・考え方を働かせながら思考・判断・表現する場面の設定）</small>

5 単元の指導と評価の計画（全 時間）						
時 間	学習過程	【評価の観点】 評価規準 〔評価方法〕	学習課題（■）と主な学習活動（◎） ※学習活動を複数記述した場合、重点（◎），それ以外（○）			
			単元の中で「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現を目指す主な場面			
			■ ◎ <table border="1"> <tr> <td>主体的な学び</td> <td>対話的な学び</td> <td>深い学び</td> </tr> </table>	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
主体的な学び	対話的な学び	深い学び				
			■ ◎ <table border="1"> <tr> <td>主体的な学び</td> <td>対話的な学び</td> <td>深い学び</td> </tr> </table>	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
主体的な学び	対話的な学び	深い学び				
			■ ◎ <table border="1"> <tr> <td>主体的な学び</td> <td>対話的な学び</td> <td>深い学び</td> </tr> </table>	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
主体的な学び	対話的な学び	深い学び				
			■ ◎ <table border="1"> <tr> <td>主体的な学び</td> <td>対話的な学び</td> <td>深い学び</td> </tr> </table>	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
主体的な学び	対話的な学び	深い学び				
			■ ◎ <table border="1"> <tr> <td>主体的な学び</td> <td>対話的な学び</td> <td>深い学び</td> </tr> </table>	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
主体的な学び	対話的な学び	深い学び				
			■ ◎ <table border="1"> <tr> <td>主体的な学び</td> <td>対話的な学び</td> <td>深い学び</td> </tr> </table>	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
主体的な学び	対話的な学び	深い学び				

※「主体的・対話的で深い学び」は、1 単位時間の授業の中で全てが実現されるものではなく、単元や題材のまとまりの中で、例えば主体的に学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、学びの深まりを作り出すために、子供が考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で実現されていくことが求められると「答申」で述べられています。